

## 善財童子像

善哉童子（サンスクリット語：Sudhana）は善知識の智慧を求めた菩薩であった。彼の旅路は初期の仏教書に記されている。高山寺の開祖である明恵(1173~1232 年)はインドへの巡礼を熱望し、善財童子の旅の物語に感化された。

この木像は、善財童子が新たな旅に出ようとしているかのように一步前に踏み出した姿を表している。この像は明恵が自邸に保管していたという像を基にしている。